

空室解消 ニュース レター Vol.16

Contents

秋号

- リモデル事業部長 本間達司のコラム
－「リサイクル」－
- リモデル事業部の BEFORE→AFTER
－「関目プロジェクト」－
- 技建社員のオススメ本
－「新約コピーバイブル」－
- 「リモデル！リモデル！」
－「はじめまして！」－
- 心に響いたこの言葉
－「モノより思い出」－

この度は、新潟県中越地震の震災及び近畿北部の水害に遭われた方々に社員一同心からお見舞い申し上げます。また、多くの被災地の方々が一日でも早く平穏を取り戻す事ができる事を心からお祈り申し上げます。

リサイクル



天高く、馬肥ゆる秋。日中の日差しは少々厳しい日もありますが、日陰の涼しさにさわやかな秋を感じる今日この頃、みなさまもお元気でお過ごしでしょうか。

四半期に一度の発行に切り替えてから2回目のニュースレターとなります本号では、リサイクルについてお話してみたいと思います。

さて、先日、「ゴミは金なり 世界が奪い合う日本の廃棄物」というタイトルのドキュメンタリー番組が放送されていました。

この番組を見た無知な私には、驚きの連続。

まず、「海を渡る家電ゴミ」では、私達日本人が買い換えや故障といった原因で粗大ゴミとして捨てられるテレビやラジカセといった家電ゴミが、回収業者により集められ大きな倉庫一杯に山積みされる。それをコンテナに満載し、東南アジア、中近東、中南米へと輸出される。

ある中東の国では、そのコンテナが到着するとバイヤーが集まり、2時間程度で全ての商品が売りさばかれる。買われた商品は修理され、市場の小売店にところ狭しと並べられている。我々がゴミとして捨てているものが商品として生まれ変わる瞬間です。

また、「中国へ渡るゴミ」では、日本から出る産業廃棄物をひと山数百万円で購入し、舟に満載して輸入する。この産廃の山を低賃金を利用して人海戦術で

選別し、中国の高度経済成長を支える原材料として再生利用している。等々。

この番組を見た私の率直な感想は、**「日本の全国民は、もっと物を大切にし、もっとリサイクル意識を高める必要がある」**でした。日本では休日の余暇はショッピングや旅行、ドライブ、スポーツ等で楽しむ方が多いようですが、日曜大工や壊れた家電製品の修理に取り組む日として余暇を楽しむのも以外な発見がありおもしろいものです。また、**「分ければ資源、混ぜればゴミ」**の標語の通り、ゴミの選別回収もリサイクル社会にとって最大のキーポイントとなるはずで**す。全国民一人一人が意識してゴミを少なくし、選別して捨てるようにすることが必須の課題です。**

また、私自身も仕事として建物の再生、リユースに係わる身として社会貢献とビジネスの両方の観点から胸を張って誇れる仕事をして行きたいと考えています。

●リモデル事業部 近況報告●

9/17～18・・・**賃貸住宅フェア 2004 in 大阪**
主催/ (株) 全国賃貸住宅新聞社
コンバージョンコンペにて
「賃貸住宅新聞社賞受賞」

2年連続！！

9/29～10/1・・・**中小企業総合展 2004 in 東京**
10/27～10/29・・・**中小企業総合展 2004 in 関西**
主催/ 経済産業省 中小企業庁
関東経済産業局
近畿経済産業局



10/9・・・**毎日放送 某テレビ番組 不動産紹介コーナーにて紹介されました！**

10/15・・・**新聞 夕刊フジ 記載 「大化け前の関西中小企業」**

10/19・・・**第一回大阪市コンバージョンコーディネーター登録申請**

11/2・・・**ベンチャープラザ近畿 2004**
主催/ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿支部
中小企業・ベンチャー総合支援センター

リモデル事業部のBEFORE→AFTER

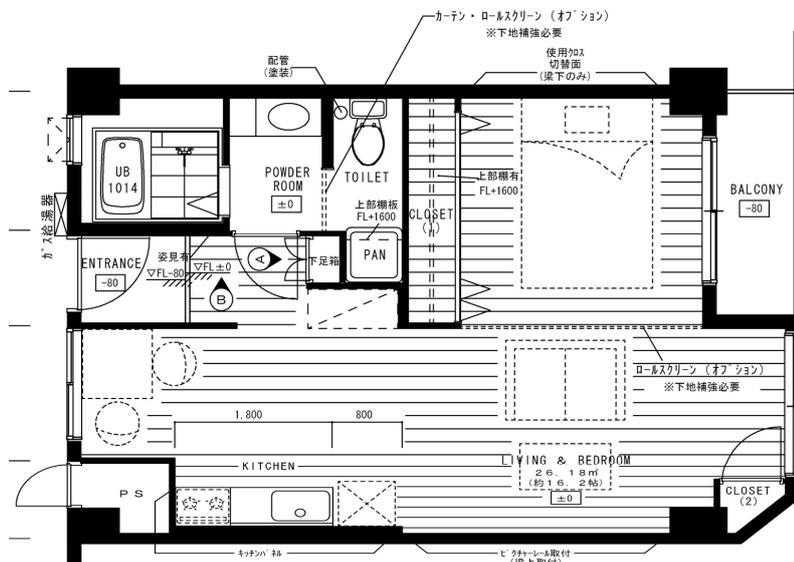
今回ご紹介するのは『関目プロジェクト』（築約33年）です。こちらの物件は、4室の空室中3室で空室解消を実施しました。

2DKで4.5帖と6帖の和室が外からの光を遮っていたものを、部屋全体に光を通すLDKとプライベートルームからなるゆとりある空間にしました。

39.5㎡と決して広いとは言えない空間の中に使い勝手の難しい4.5帖と6帖の和室が2つ。その和室が空間を暗くまた狭く見せている。現在の一般的な家族構成から部屋数（和室）は必要ないと考えました。



和室をなくし寝室をロールスクリーンで仕切る事により1LDKにもできる、ゆとりある生活空間としました。ブーツの入るシューズインクローゼットと絵画・ポスターなどが自由に飾れるピクチャーレールを装備しました。



技 建社員のオススメ本（リテール事業部 経営コンサルタント 奥村）

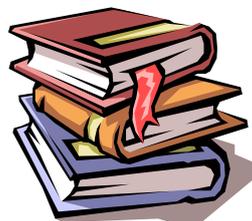
【 新約コピーバイブル 】

宣伝会議コピーライター養成講座 編集
宣伝会議 出版 2,520円

企業のCM、新聞広告等にはキャッチフレーズがつけられています。皆さんが知っている有名なキャッチフレーズには「そうだ 京都、行こう（JR 東海）」や「おしりだって、洗ってほしい（TOTO）」があります。こうしたキャッチフレーズは、コピーライターと呼ばれる方々が制作しています。

今回ご紹介する「新約コピーバイブル」という本は、有名なコピーライターの方々が、発想してから言葉を作っていくまでのプロセスについて書かれています。わかりやすい文章で面白いエピソードを書いているページもあります。本の体裁はまさしく本物のバイブルのようです。コピーライターを目指す若者にはたしかにバイブル的な存在でしょう。56ページには、消費者側から見た商品ネーミングの条件についてこう書いています。

1. 読みやすい
2. 書きやすい
3. 響きがいい
4. 親しみやすい
5. 覚えやすい



当たり前といえば当たり前ですね。しかし、こうした原則をはずしているネーミングがいかに多いことか。逆に、これらの条件を満たす新しいネーミングであれば、消費者の心をワシツカミすることができるでしょう。

現在、私はコピーライター養成講座に通学して、コピーライティングの奥義を掴もうとしています。大学受験や資格取得の勉強のように努力した時間に比例して実力がつけばいいのですが、コピーライティングの勉強は努力した時間に比例するとは限りません。こうした不条理は世の中では当たり前なので、自らの才能が覚醒するまで待つしかありません。悪戦苦闘する私の傍には、いつも「新約コピーバイブル」があるのです。

はじめまして！

私、来月11月よりリモデル事業部に配属になりました「近藤 聡 (29歳)」と申します。私は今まで入社以来7年間、大手ゼネコン企業さんの協力業者として、建築現場に常駐し建築施工図を作図しておりました。

これからのリモデル事業部の中での私の仕事は、広報担当になります。

ご覧頂いている方もいらっしゃると思いますが、主な仕事はホームページの作成ならびに運営管理です。

ホームページはリモデル事業部には欠かせない顔だと思っています！

今まで以上にもっと見やすく、わかりやすいホームページ作りを追求していきたいと思っています。

そして、このニュースレターの作成編集の方もさせていただきます。

ニュースレターも、見やすく、わかりやすく、興味を持っていただけるニュースレター作りに取り組みたいと思っています。

そして、もうひとつは賃貸入居希望者の対応です。

現在、私共に登録頂いている賃貸入居希望者は283名になります。もっともっとたくさんの方々にこのリモデル事業を認知して頂き、さらに今まで以上、オーナー様のご希望に添えられるようがんばります。

今までと仕事内容はガラリと変わりますが **私自身、「リモデル！リモデル！」で心機一転がんばります。**

ニュースレターをご愛読の皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



心に響いたこの言葉

【モノより思い出】

今回は、オススメ本コーナーで奥村先生がキャッチコピーの本を紹介されていらっしゃるいましたので、ここでは、私が好きなテレビCMのキャッチコピーを取り上げてみたいと思います。

「モノより思い出」

ご存知の方も、たくさんいらっしゃるかと思いますが、日産自動車のセレナのテレビCMで使われたコピーです。

CMでは、車に乗って出掛けたある家族が出てきます。子供がいつもの街では見れない花や木や、動物に触れて無邪気に遊ぶ姿のあとに、「モノより思い出」のテロップとナレーションと共に帰りの車で遊び疲れて眠る子供の姿が映されます。

これは、日産自動車がこの「セレナ」という車でターゲットにしているまだ小さな子供を持つファミリー世代には、とても**共感できる言葉**でしょう。しかも、とても**理解しやすい言葉**であり（子供は何かを買って貰うことより、一緒に遊んで貰うことの方がうれしいものです）、**覚えやすい言葉**ですよ。

小さなお子様がいらっしゃる方は、「子供にこんな体験をさせてあげたいなあ」と思うでしょう、タイミングが良ければ車の購入を考えるかもしれません。

一言で人の気持ちを揺り動かす、キャッチコピーはそれができないといけないのだそうです。営業もそうですよね。初めてお会いした方に対して、一言で相手の興味を惹かせる営業は上手い営業だと言われています。私も、簡潔に、理解しやすく、共感できる言葉を話せる営業マンになる為にネーミングの条件をしっかりと頭に入れて仕事に取り組みたいと思います。（岡崎）

「空室解消ニュースレター」編集部
株式会社 技建設計 リモデル事業部
〒550-0012 大阪市西区立売堀1丁目6番8号
TEL 06-6533-5167(代) FAX 06-6533-5140
URL:<http://www.giken-net.jp> MAIL:remodel@giken-net.jp

発行人 本間・近藤・岡崎
発行日 平成16年10月30日

当社4階モデルルームは随時見学可能となっております。見学をご希望の方はリモデル事業部までご連絡下さい。

Copyright (c) 2004 (株)技建設計 all rights reserved.